築上町各中学校

家庭学習の手引き

築上町教育委員会

中学校の学習は、人から習う学習に加えて、自ら学ぶ意識的な学習が求められます。この学習を確かな習慣として定着させられるかどうかは、その後の学習の正否を左右する重要なポイントとなります。学校では、一斉指導だけでなく個別指導やTT（ティーム・ティーチング）など、「個に応じた指導」の取り組みを通して、自ら学ぶ力を高める努力をしていきますが、ご家庭と協力することにより、この力とともに、学習習慣の定着度がさらに高まります。
よりよい家庭学習の習慣化に向けて、この手引きをよく目にする場所に貼っていただき、お子さまの学力向上にお役立てください。

●家庭学習の習慣化

◆復習はその日のうちに

習ったことをすぐに復習すると、学習内容が効果的に身につきます。その日のうちの復習は必ず実行しましょう。

◆授業の予習をすると…

① 授業への積極的な参加につながります。
② 質問・発表等もしやすくなります。
③ 授業がわかるようになり、自信がつき、勉強への意欲が出てきます。

◆習慣化への3つのポイント

①「時間」を決める

学年ごとに、以下のような時間（例）を決めて実行しましょう。

設定の例
- 1年生　1時間以上
- 2年生　2時間以上
- 3年生　3時間以上

②「計画」を立てる

部活動がある日・ない日、土曜日・日曜日などで、学習時間の基本的な計画をたてましょう。

③「場所」を決める

勉強する場所を決め、時間になったら机につく習慣が大切です。

※・勉強するときは、テレビを消しましょう。
・よい姿勢で学習しましょう。
・机の上は、きれいに片付けましょう。

家庭学習の内容

◆ 宿題をしましょう。

宿題は各教科の先生が、授業で学習した内容の定着のための練習問題と次の授業への準備として出しています。必ず宿題から取り組むようにしましょう。

◆ 復習と予習をしましょう。

復習　授業が終わったあと、教科書を見直す、ノートを整理し直す、授業でやった問題をやってみる、ワークや問題集をやってみる、といった学習をしましょう。

予習　教科書を読む（見る）、教科書の内容をノートに写す、意味を調べる、問題を解いてみるなどの学習をしましょう。授業で何を学ぶのかがわかり、大変効果的です。

国語科での復習と予習（例）

復習①　授業ノートをみて学習内容を振り返りながら、教科書の音読を行います。

復習②　漢字・語句・文法については、意味を確認しながら繰り返し書いて覚えましょう。

予習①　教科書の文章を読みましょう。おおよそのあらましがつかめるまで、繰り返し読みましょう。

予習②　むずかしい漢字の読みや言葉の意味を調べ、ノートに書き写しておきましょう。

数学科での復習と予習（例）

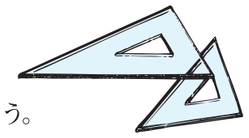
復習①　ノートに書き写した問題をもう一度自分だけの力で解き直します。

復習②　問題集の例題をノートに書き写しながらやってみましょう。
次に、練習問題を解きます。答え合わせをし、
必ず間違いを確認しやり直します。

予習①　教科書（見開き2ページ程度）を読みましょう。

予習②　新しい語句などに、アンダーラインを引きましょう。

予習③　余裕があれば、教科書の例題に挑戦しましょう。



定期考査に向けた家庭学習の3つのポイント

①「計画」を立てましょう。
・試験勉強は2週間前からはじめましょう。
・2週間分の学習計画表をつくります。
・一日3～4教科ずつ、一教科最低30分として
　1日2時間程の学習計画表をつくります。

②「書いて」覚えましょう。
・試験は正確に書いて正解です。
・正確に覚えるまで何度も繰り返し書きましょう。
・重要な語句や文はもちろんですが、問題集の問題も必ず
　2回以上は解いて、問題を見れば答えが出てくるまで覚えましょう。

③「目標」をもちましょう。
・試験は，日々の学習の定着を確認するものです。
・試験勉強だけでなく、毎日の家庭学習の成果があらわれます。
　○定期テストを1つの目標にし、納得のいく結果を目指してがんばろう。

社会科での復習と予習（例）

復習①　ノートをみて学習内容を振り返りながら、教科書の音読を行います。

復習②　ワークの問題に取り組みます。

復習③　重要語句は、意味を確認しながら繰り返し書いて覚えましょう。また、関連する資料も確認します。

予習①　教科書の文章を読みましょう。おおよそのあらましがつかめるまで、繰り返し読みましょう。

予習②　むずかしい言葉や重要語句（太字）の意味を調べ、ノートに書き写しておきましょう。

理科での復習と予習（例）

復習①　重要な用語や法則は、意味を確認して書いて覚えます。

復習②　ワークの問題に取り組みます。答え合わせをし、必ず間違いを確認しやり直します。

予習①　教科書を読んで、学習内容を確認しましょう。わからないところはチェックをしておきましょう。

予習②　実験や観察がある場合は、そのねらい・方法を理解し、結果を予測しておきます。

英語科での復習と予習（例）

復習①　英単語は、暗記できるまで繰り返し書いて覚えます。

復習②　ワークの問題に取り組みます。間違った単語や文も繰り返し書いて覚えます。

復習③　教科書の本文を繰り返し音読し、最後に見ないで書いて覚えます。

予習①　新しく出てきた英単語の意味を調べて、ノートに書きましょう。

予習②　教科書の本文を写し、日本語訳に挑戦し（わからないところは線を引き）、声に出して読む練習をしましょう。

●生活のなかで心がけたいこと

① **「早寝・早起き・朝ご飯」**…規則正しい生活習慣が、学習の土台となります。
② 読書のすすめ…本は知識を広げ、心を豊かにしてくれます。
※ **保護者のみなさまへ**…家庭学習の充実には、家族の**理解と協力**が必要です。
・テストの結果や宿題等についてのみ指摘するのではなく、目標に向かって毎日学習することの大切さについて語り合うことが大切です。
・家族の一人として役割を分担するなど、**“責任を持たせる”**ことも大切です。